

研究主題「考え、伝え、学び合う児童の育成

～言語活動の充実を通して～

低学年分科会の目指す児童像…自分の思いや考えを伝えようとする子

第1学年 国語科学習指導案

平成26年12月10日（水） 5校時

指ヶ谷小学校1年2組 19名

指導者 峰村 亜津早

1 単元名 ただしく つたえる

教材名 だいじな ことを れんらくしよう

2 単元の目標

身近なことなどについて、大事なことを落とさないように話したり聞いたりする。

3 評価規準

国語への関心・意欲・態度	・未就学児を招待して調べたことを連絡しながら学校案内をしようとしている。
話す・聞く能力	・必要なことを落とさず聞いたり連絡したりし、相手に応じた言葉遣いで話している。
言語についての知識・理解・技能	・大事なことを語句のまとまりとしてとらえ、メモに書いている。

4 児童の実態

本学級の児童は、日直の朝のスピーチや授業時の発表の経験から、友達の発表を相手の方を向いてよい姿勢で聞こうとする姿勢が身についている。また、発表に対する質問も積極的にし、相手のことをもっと知りたいという児童が多く見受けられる。しかしながら、人前に立つと緊張して声が小さくなってしまったり、友達に助けを求めたりする児童も1割程度いる。

自分のことを話したり、相手の話を聞いたりする経験はあるが、相手から聞いた話を誰かに伝えるという経験がないため、大事なことを落とさずに聞くということを繰り返し指導し、それを正確に伝えるという経験を持たせることが必要である。メモを書いたり、メモをもとに話型に沿って話したりする活動は11月に「メモをつかってしょうかいしよう」で学習しているが、発表に関しての学習は、まだ十分にされていない。

また、書くことが好きな児童は多いが、話すことに関しては苦手意識をもっている児童がいるため、「年長さんに学こうを しょうかいしよう」というめあてを設定し、相手意識をもって取り組めるようにした。この単元を通して、話すことの楽しさを感じてもらいたい。

5 単元について

(1) 教材観

本教材「だいじなことをれんらくしよう。」は、学校紹介に向けて児童が学校の先生に情報を伝達したり、インタビューしたりする。インタビューして得た情報を園児に向けて分かりやすく説明できるように、台本を考え、聞き合い、よかったところや改善点を見つけていく。実際に、3学期に園児を案内する。

本教材で大切にしたい点は以下の4点である。

1点目は、単元のすべてを通して園児に学校を紹介するという目的意識をもたせるということ。2点目は、目上の人に対する話し方や聞き方の習得。3点目は、大事なことを落とさずに台本に組み込み、分かりやすく伝えようとする。4点目は、お互いの紹介を聞き合い、良かった点や改善点を伝え、発展させていくことである。

本時は、特に4点目に重きを置いて取り組んでいく場面である。話型に気をつけ、自分の考えをしっかりと相手に伝えられるようにしたい。

(2) 学習指導要領の目標と内容

A 話すこと・聞くこと

(1) 目標

相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

(2) 内容

- イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気を付けて話すこと。
- ウ 姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりとした発音で話すこと。
- エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。
- オ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。

6 研究主題に迫る手立て

(1) 身につけさせたい力

大事なことを落とさずに、分かりやすい言葉で伝える力

(2) そのための手だて

①単元全体に見通しを持って学習に取り組ませる。

学校紹介をするために、何を調べなければいけないか考えることで、知っていることだけでなく、「聞いてこよう」「教えてもらおう」という主体的な活動に結びつく。

②園児に学校を紹介したり、教職員にインタビューしたりすることによって相手意識を持たせる。

相手が園児ということで、よりわかりやすい言葉や話し方を選択しようとする。また、インタビューを教職員にすることを通して、目上の人への言葉遣いや、相手の気持ちに配慮した話し方を学ばせたい。

③継続的な指導

2学期のはじめから、話し方・聞き方の話型「はなしかた・ききかたの あいうえお」を教室に掲示し、教科を越えて継続的に指導をしてきた。

④学習形態の工夫

一人一人が「話す・聞く」活動に参加できるように、一人でインタビューに行った後にグループでそれぞれが伝え、互いの情報を共有する。さらに他のグループとの伝え合いによって学習をさらに深める。

⑤「連絡メモ」の活用

連絡メモを活用することで、無意識になりがちな話す活動を意識化する。そのことで、教職員に対するインタビューや園児への学校紹介を円滑に行うことができるようになる。

(3) 言語活動の充実

単元の学習を通して重視したい言語活動は、「伝え合いによる考えの発展」と「大事なことを落とさずに相手の立場に立って、わかりやすい言葉を用いて伝える」ということである。

7 学習指導計画（全12時間）

	時	ねらい	○学習活動	◇支援 ☆評価 【評価項目】(評価方法)
中	①	連絡の仕方や方法を知る。 インタビューをするための、約束のとり方を知る。	○本文を読んで、単元の学習の流れをつかむ。 ○園児に学校紹介をするためには、どんな準備が必要か考え、計画を立てる。 ○学校の中で紹介する場所を決める。 ○教職員にインタビューをするための約束の取り方について考える。	◇連絡する時に大事なことを短い言葉でまとめる。 ☆目上の人に対しての連絡の仕方を考えることができる。 (ワークシート)
	②	メモを取る練習をする。	○メモを取る上で落とすといけない大事なことを確認する。 ○話を聞いて、大事なことを落とさないようメモする練習をする。	◇メモを取る上で大事なことを事前に抑えておく。 ☆大事なことを落とさずにメモすることができる。 (ワークシート)
	③	質問したい内容を考える。	○学校を紹介する上で落とすといけない質問について確認する。 ○質問する場所について、質問したい項目を3つ考える。 ○質問する時の話し方を考える。 ○インタビューの台本を作成し、練習する。	◇学校を紹介するにあたって、質問しておかなければならないことを事前に抑えておく。 ☆知りたいことの中で学校紹介にふさわしい質問を考えることができたか。 (ワークシート)
	④	それぞれが聞きに行く場所に行って、聞きながらメモをとってくる。	○インタビューをする上で大切なことを確認する。 ○メモをするときに落とすといけないことについて確認する。 ○グループごとにインタビューに行き、聞いたことをメモしてくる。	◇目上の人に対する言葉遣いなど、連絡の仕方について確認する。 ☆聞いたことの中から、大事なことをメモすることができる。 (ワークシート)

⑤ ⑥	それぞれが聞いてきたことを知らせ合う。	○自分がインタビューをして聞いてきたことを、同じグループの友達に知らせる。 ○さらにくわしく知りたいことや疑問に思ったことがあれば話し合う。	◇一人一人が話し合い活動に参加できるように、少人数グループにする。 ☆聞いてきたことの中から、園児が知りたいと感じる内容はどのようなものなのか考えることができる。 (話し合い活動)
	聞いてきたことをもとに、園児に伝える内容を決める。	○園児が、知りたい内容がどのようなものなのか考えながら、伝える内容を決める。	◇伝える内容に関して、相手に合った数や長さになるように声をかける。 ☆園児が学校のどの場所について知りたいかという案内される側の視点や、自分たちがどこを案内してあげたいかという自分たちの思いの両方を踏まえて決めることができる。 (ワークシート)
⑦	分かりやすい話し方について考える。	○話し方のよい例・悪い例を聞き、分かりやすい話し方がどのようなものなのかを知る。 ○園児に対して、どのような話し方をしたらよいかを話し合う。	◇実際に分かりにくい話し方（早口や下を向いて話すなど）を見せ、分かりやすい話し方と比較することで、分かりやすい話し方について考えやすくする。 ☆分かりやすい話し方について、相手の立場にたって考えることができる。 (話し合い活動・発表)
⑧	園児に紹介するときの台本作りする。	○園児に分かりやすいような言葉を選択し、話す事柄を順序立てて、台本を作成する。 ○自分の話す場所を決める。 ○練習する。	◇園児に対する言葉にはどのようなものがふさわしいか考えられるようにする。 ☆相手にあった言葉遣いを選択し、分かりやすい発表台本を作ることができる。 (ワークシート)
⑨ (本時)	ペアグループを作り、お互いの発表の仕方についてアドバイスをしあう。	○友達の発表について、よい点やもっと分かりやすくするために必要なことをメモしながら聞く。 ○ペアでアドバイスをしあい、互いの発表がより良いものになるようにする。	◇お互いにより点やもっと分かりやすくするために必要なことを挙げられるようにヒントカードを掲示しておく。 ☆発表を聞き、よい所やもっと発表を分かりやすくするた

			めに必要なことをアドバイスできている。 (話し合い活動)
	⑩	アドバイスをもとに台本を見直したり、紹介の練習をする。 ○友達からもらったアドバイスをもとに、台本を見直す。 ○友達からもらったアドバイスをもとに、話し方を中心に紹介の練習をする。	◇言葉だけでなく、話し方についても意識して練習するように声をかける。 ☆アドバイスをもとにわかりやすい台本に仕上がっている。 (ワークシート)
	⑪	園児に学校を紹介する。 ○園児に分かりやすく学校を紹介する。	◇練習したことが生かせるよう、紹介する前に教室で練習させる。 ☆学校紹介の場で、相手にあった言葉遣いや話し方で紹介することができる。 (学校紹介)
ま と め る	⑫	園児に学校紹介をした感想を発表する。 ○園児に学校紹介をした後に、友達と感想を交流させる。	◇初めての経験なので、多くの児童が発表できるように交流形式にする。 ☆学校紹介についての感想を自分なりに持ち、友達と交流することができる。 (話し合い活動)

8 本時の指導 (9/12)

(1) 本時のねらい

【話す・聞く能力】園児に分かりやすい学校紹介の仕方について話し合う。

(2) 展開

	学習活動 ○主な学習活動と内容 ・予想される児童の反応	◇支援 ☆評価 【評価項目】(評価方法)
導 入	○単元の目標を振り返る。 ○前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">年ちゃんさんによくわかる しょうかいのめい人になろう。</div>	◇相手意識をもたせることにより、学習への意欲付けを図る。
展 開	○分かりやすい話し方を意識しながら、自分の台本を読む。 ○ペアで台本を読む。	◇どのようなことを意識したらよいか黒板に掲示しておく。 ◇発表を聞いて、アドバイスをすることができるように、ワークシートに観

	<p>○年長さんに分かりやすい発表にするために、アドバイスをしあう。</p> <p>よかったところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな口ではっきり言えていたのが良かったです。 ・みじかいことばでかんたんに話せていたのが良かったです。 <p>もっとわかりやすくなるための アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の目を見ないで話していたので、もっと相手の目を見て話した方がよいと思います。 ・声が小さかったので、大きな声で話せるともっとよいと思います。 <p><指導事項></p> <p>姿勢や口の開け方、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりとした発音で話すこと。</p> <p>○友達のアドバイスを聞いて、気を付けたいことやがんばりたいことをワークシートに記入する。</p>	<p>点を示しておく。</p> <p>◇分かりやすい話し方の観点に基づいてアドバイスができるように声をかける。</p> <p>◇アドバイスを伝えるための話型を掲示しておく。</p> <p>☆発表を聞き、よい点やもっと分かりやすくするためのアドバイスを伝えることができている。</p> <p style="text-align: right;">(話し合い活動)</p> <p>◇次時の台本の見直しに生かすことがために気を付けたいことなどを具体的に書くよう声をかける。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○友達のアドバイスを聞いて、気をつけたいことやがんばりたいことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声が小さかったことが分かったので、今度は大きな声で話したいです。 ・紙をずっと見ていたので、相手の目を見て話せるようにしたいです。 	<p>◇次時への意欲付けを図る。</p>

9 板書計画

<p>アドバイスのしかた</p>	<p>はっぴょうのぼしよ</p>	<p>わかりやすいはなしかた</p> <p>めあて</p> <p>年ちようさんに学こうしようかいをしよう</p> <p>年ちようさんによくわかるはっぴょうのめい人になろう。</p>
------------------	------------------	--